2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔ＩＦＲＳ〕（連結）

2026年11月11日

上場会社名　　株式会社ラウンドワン　　上場取引所　東
コード番号　　4680　　ＵＲＬ　https://www.round1-group.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）杉野　公彦
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理本部長　　（氏名）岡本　純　　ＴＥＬ　06-6647-6600

半期報告書提出予定日　2026年11月12日　　配当支払開始予定日　2026年12月３日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に帰属する中間利益		中間包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	111,995	21.8	18,688	25.0	15,859	18.8	10,086	13.9	10,086	13.9	9,198	4.5
2026年３月期中間期	91,985	6.9	14,949	7.4	13,347	8.7	8,852	1.8	8,852	1.8	8,802	29.8

	基本的１株当たり中間利益	希薄化後１株当たり中間利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	38.37	38.34
2026年３月期中間期	33.75	33.63

当社グループの業績の有用な比較情報として、EBITDA及び調整後EBITDAを開示しております。
EBITDA及び調整後EBITDAの計算式は以下のとおりです。

EBITDA 計算式 ： 営業利益 ＋ 減価償却費
2027年３月期第２四半期（中間期）　40,917百万円
2026年３月期第２四半期（中間期）　35,844百万円

調整後EBITDA 計算式 ： 営業利益 ＋ 減価償却費 ＋ 非支出費用
2027年３月期第２四半期（中間期）　41,063百万円
2026年３月期第２四半期（中間期）　36,345百万円

（２）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	332,008	89,635	90,310	27.2
2026年３月期	309,888	82,635	82,635	26.7

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	4.50	4.50	4.50	4.50	18.00
2027年３月期	4.50	4.50			
2027年３月期（予想）			4.50	4.50	18.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的１株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	227,356	19.9	36,730	27.7	31,091	22.3	20,445	23.0	20,445	23.0	77.78

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①　ＩＦＲＳにより要求される会計方針の変更：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	289,161,942株	2026年３月期	289,161,942株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	26,289,649株	2026年３月期	26,289,269株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	262,872,409株	2026年３月期中間期	262,303,908株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．要約中間連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）要約中間連結財政状態計算書 …… 3
（２）要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書 …… 5
（３）要約中間連結持分変動計算書 …… 7
（４）要約中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（５）要約中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（セグメント情報） …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 11

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、物価上昇の影響が続くなか、個人消費に持ち直しの動きがみられ、設備投資も持ち直すなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。

他方、世界経済においては、米国の通商政策の動向や中東情勢をはじめとする地政学的リスク、原油価格の変動や金融資本市場の動向などを背景に、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、日本においては、引き続きクレーンゲームの需要が高い傾向であることから、多種多様な景品を取り揃え、売上の向上に努めました。また、様々なコンテンツとの期間限定のコラボキャンペーンやお子様・小中学生向けキャンペーンを実施したほか、「ROUND1 LIVE」を使ったリモートイベントを開催することで、幅広い年齢層に向けた取組みを行いました。

日本以外のセグメントにおきましては、コラボキャンペーンや多種多様な景品を取り揃えることにより、売上収益が前年同期に比べ増加いたしました。また、新規事業や新店出店の準備に取り組んだことにより、人件費、使用権資産の減価償却費、支払手数料等の費用が前年同期に比べ増加いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上収益111,995百万円（前年同中間期比21.8%増）、営業利益18,688百万円（前年同25.0%増）、税引前中間利益15,859百万円（前年同18.8%増）、親会社の所有者に帰属する中間利益10,086百万円（前年同13.9%増）となりました。

なお、当社グループが運営する屋内型複合レジャー施設は、長期休暇の多い第２四半期及び第４四半期に売上収益が増加する傾向があり、四半期毎で経営成績の偏りが生じます。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

（日本）

営業基盤を拡大すべく、新規店舗の出店準備を進めております。また、アミューズメントにおいて食品や日用品等の景品を中心としたクレーンゲーム専用エリア「とれすぎ～のアイランド」を９月末時点で86店舗にて展開し、売上の向上に努めました。加えて大人気アニメコンテンツとの期間限定のコラボキャンペーンを実施し、幅広い客層の集客促進に取り組むことで売上の増進に尽力しました。

以上の結果、ボウリング収入は前年同中間期比11.3%増、アミューズメント収入は前年同31.1%増、カラオケ収入は前年同26.6%増、スポッチャ収入は前年同14.7%増となりました。

（米国）

アミューズメントにおける当社オリジナル景品の定期的な導入や、様々なコンテンツ等との期間限定コラボキャンペーンを積極的に実施し、顧客エンゲージメントの向上および販売機会の創出に努めました。

以上の結果、ボウリング収入は前年同中間期比13.7%増、アミューズメント収入は前年同20.7%増、飲食その他収入は前年同28.1%増、スポッチャ収入は前年同9.9%増となりました。

（高級飲食）

ラウンドワンデリシャスプロジェクトの事業展開準備を行っております。

（その他）

中国においては３店舗体制のもと、引き続き収益構造の確立を努めるとともに、収益獲得に尽力いたしました。

（２）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ22,120百万円増加の332,008百万円となりました。この要因は、現金及び現金同等物の増加9,612百万円等による流動資産の増加8,968百万円と、有形固定資産の増加16,489百万円、使用権資産の減少3,454百万円等による非流動資産の増加13,151百万円によるものであります。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ15,120百万円増加の242,373百万円となりました。この要因は、社債及び借入金の増加1,222百万円、その他の流動負債の増加3,250百万円等による流動負債の増加4,311百万円と、社債及び借入金の増加13,555百万円、リース負債の減少2,362百万円等による非流動負債の増加10,809百万円によるものであります。

（資本）

当中間連結会計期間末における資本合計は、前連結会計年度末に比べ6,999百万円増加の89,635百万円となりました。この要因は、親会社の所有者に帰属する中間利益10,086百万円の計上、配当金2,365百万円の支払等による利益剰余金の増加7,720百万円等によるものであります。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は27.2%（前連結会計年度末は26.7%）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきまして、2026年５月13日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、2026年11月11日公表の「2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ（IFRS）」をご参照ください。

２．要約中間連結財務諸表及び主な注記

（１）要約中間連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	54,950	64,562
営業債権及びその他の債権	3,133	2,512
棚卸資産	6,175	6,744
その他の金融資産	1,719	342
その他の流動資産	5,563	6,348
流動資産合計	71,541	80,510
非流動資産		
有形固定資産	89,783	106,272
使用権資産	121,573	118,118
無形資産	1,188	1,261
持分法で会計処理されている投資	2,193	2,357
その他の金融資産	11,076	11,152
繰延税金資産	11,574	11,452
その他の非流動資産	956	881
非流動資産合計	238,346	251,497
資産合計	309,888	332,008

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	10,527	9,550
社債及び借入金	10,821	12,044
リース負債	28,666	27,926
未払法人所得税	4,295	5,147
契約負債	5,619	6,322
その他の流動負債	6,603	9,853
流動負債合計	66,533	70,845
非流動負債		
社債及び借入金	38,295	51,851
リース負債	110,212	107,850
引当金	7,572	7,576
その他の金融負債	769	453
繰延税金負債	3,338	3,276
その他の非流動負債	530	519
非流動負債合計	160,719	171,528
負債合計	227,252	242,373
資本		
資本金	25,872	25,872
資本剰余金	26,606	27,276
利益剰余金	43,752	51,473
自己株式	△20,006	△20,006
その他の資本の構成要素	6,410	5,694
親会社の所有者に帰属する持分合計	82,635	90,310
非支配持分	△0	△675
資本合計	82,635	89,635
負債及び資本合計	309,888	332,008

（２）要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書

（要約中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上収益	91,985	111,995
売上原価	72,398	86,537
売上総利益	19,586	25,457
販売費及び一般管理費	3,976	6,545
その他の収益	127	101
その他の費用	787	325
営業利益	14,949	18,688
金融収益	132	81
金融費用	1,938	3,147
持分法による投資利益	204	237
税引前中間利益	13,347	15,859
法人所得税費用	4,495	5,773
中間利益	8,852	10,086
中間利益の帰属		
親会社の所有者	8,852	10,086
非支配持分	△0	△0
中間利益	8,852	10,086
１株当たり中間利益		
基本的１株当たり中間利益（円）	33.75	38.37
希薄化後１株当たり中間利益（円）	33.63	38.34

（要約中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間利益	8,852	10,086
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	4	4
純損益に振り替えられることのない項目合計	4	4
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△52	△898
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△2	5
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△55	△892
その他の包括利益	△50	△888
中間包括利益	8,802	9,198
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	8,802	9,198
非支配持分	△0	△0
中間包括利益	8,802	9,198

（３）要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分					
					その他の資本の構成要素	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2025年４月１日残高	25,665	26,341	31,723	△20,005	2,836	△1
中間利益	－	－	8,852	－	－	－
その他の包括利益	－	－	－	－	△56	1
中間包括利益合計	－	－	8,852	－	△56	1
自己株式の取得	－	－	－	△0	－	－
新株予約権の行使	94	94	－	－	－	－
配当金	－	－	△2,228	－	－	－
株式報酬取引	－	－	－	－	－	－
所有者との取引額合計	94	94	△2,228	△0	－	－
2025年９月30日残高	25,759	26,436	38,347	△20,005	2,779	△0

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素					
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	新株予約権	合計	合計	非支配持分	合計
2025年４月１日残高	19	304	3,158	66,883	△0	66,883
中間利益	－	－	－	8,852	△0	8,852
その他の包括利益	4	－	△50	△50	0	△50
中間包括利益合計	4	－	△50	8,802	△0	8,802
自己株式の取得	－	－	－	△0	－	△0
新株予約権の行使	－	△45	△45	143	－	143
配当金	－	－	－	△2,228	－	△2,228
株式報酬取引	－	177	177	177	－	177
所有者との取引額合計	－	132	132	△1,908	－	△1,908
2025年９月30日残高	24	436	3,240	73,777	△0	73,777

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分					
					その他の資本の構成要素	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2026年４月１日残高	25,872	26,606	43,752	△20,006	5,894	△0
中間利益	－	－	10,086	－	－	－
その他の包括利益	－	－	－	－	△892	△0
中間包括利益合計	－	－	10,086	－	△892	△0
自己株式の取得	－	－	－	△0	－	－
新株予約権の行使	－	－	－	－	－	－
配当金	－	－	△2,365	－	－	－
株式報酬取引	－	－	－	－	－	－
支配継続子会社に対する持分変動	－	670	－	－	9	－
所有者との取引額合計	－	670	△2,365	△0	9	－
2026年９月30日残高	25,872	27,276	51,473	△20,006	5,011	△0

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素					
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	新株予約権	合計	合計	非支配持分	合計
2026年４月１日残高	19	496	6,410	82,635	△0	82,635
中間利益	－	－	－	10,086	△0	10,086
その他の包括利益	4	－	△888	△888	0	△888
中間包括利益合計	4	－	△888	9,198	△0	9,198
自己株式の取得	－	－	－	△0	－	△0
新株予約権の行使	－	－	－	－	－	－
配当金	－	－	－	△2,365	－	△2,365
株式報酬取引	－	163	163	163	－	163
支配継続子会社に対する持分変動	－	－	9	680	△675	4
所有者との取引額合計	－	163	173	△1,522	△675	△2,198
2026年９月30日残高	24	659	5,694	90,310	△675	89,635

（４）要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	13,347	15,859
減価償却費及び償却費	20,894	22,228
減損損失	150	－
金融収益	△127	△80
金融費用	1,913	2,879
持分法による投資損益（△は益）	△204	△237
固定資産除却損	219	132
固定資産売却損	131	8
営業債権及びその他の債権の増減額（△は増加）	1,255	615
棚卸資産の増減額（△は増加）	△891	△619
営業債務及びその他の債務の増減額（△は減少）	△1,139	231
その他	657	2,129
小計	36,206	43,147
利息及び配当金の受取額	147	133
利息の支払額	△1,860	△2,381
法人所得税の支払額	△7,739	△4,744
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,754	36,155
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,990	△23,857
無形資産の取得による支出	△195	△110
敷金及び保証金の差入による支出	△128	△219
敷金及び保証金の回収による収入	104	101
その他	36	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,174	△24,086
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	－	△100
長期借入れによる収入	15,000	20,800
長期借入金の返済による支出	△4,305	△5,849
社債の償還による支出	△71	△71
リース負債の返済による支出	△14,901	△15,297
ストック・オプションの行使による収入	145	－
非支配持分からの払込による収入	－	4
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△2,228	△2,365
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,363	△2,880
現金及び現金同等物に係る換算差額	△113	422
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	9,103	9,612
現金及び現金同等物の期首残高	51,154	54,950
現金及び現金同等物の中間期末残高	60,257	64,562

（５）要約中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報）

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社に経営の意思決定機関を置き、国内外で包括的戦略を立案し、総合アミューズメント事業等を行っております。

当社グループは、従来「その他」に含めていた米国における高級飲食事業については、当連結会計年度内に開業し、今後の事業拡大に伴い重要性が高まることが見込まれることから、当中間連結会計期間より「高級飲食」として独立して開示することといたしました。なお、前中間連結会計期間のセグメント情報につきましては、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

従って、当社グループは、「日本」「米国」「高級飲食」の３つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの概要は次のとおりであります。

報告セグメント	主要なサービス
日　本	屋内型複合レジャー施設の運営
米　国	
高級飲食	日本食レストランの運営

(2) 報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりであります。

なお、セグメント間の取引は、独立企業間価格に基づいております。

前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	連結
	日本	米国	高級飲食	計				
売上収益								
外部収益	53,682	37,564	－	91,246	738	91,985	－	91,985
セグメント間収益	－	－	－	－	－	－	－	－
合計	53,682	37,564	－	91,246	738	91,985	－	91,985
セグメント利益（△損失）（注）３	10,803	5,128	△817	15,114	△173	14,941	8	14,949
金融収益	－	－	－	－	－	－	－	132
金融費用	－	－	－	－	－	－	－	1,938
持分法による投資利益	－	－	－	－	－	－	－	204
税引前中間利益	－	－	－	－	－	－	－	13,347

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国（Round One Entertainment Inc.及びその連結子会社２社）並びに高級飲食（Round One Delicious Holdings, Inc.及びその連結子会社１社）を除く海外現地法人の事業活動等を含んでおります。

２．調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

３．セグメント利益（△損失）は、要約中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

４．当社取締役会では預金（現金、外貨預金除く）及び有利子負債（リース負債除く）についての報告が実施され、意思決定に使用されております。当中間連結会計期間において、日本セグメントにおける預金39,570百万円、有利子負債51,320百万円、米国セグメントにおける預金8,267百万円、高級飲食セグメントにおける預金3,836百万円であります。なお、在外子会社の預金については期末日レートとは異なる換算レートを使用しているため、報告セグメント合計額と要約中間連結財務諸表計上額で差異が生じております。

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	連結
	日本	米国	高級飲食	計				
売上収益								
外部収益	66,079	45,388	－	111,468	526	111,995	－	111,995
セグメント間収益	－	－	－	－	－	－	－	－
合計	66,079	45,388	－	111,468	526	111,995	－	111,995
セグメント利益（△損失）（注）３	16,415	4,001	△1,714	18,703	△23	18,680	8	18,688
金融収益	－	－	－	－	－	－	－	81
金融費用	－	－	－	－	－	－	－	3,147
持分法による投資利益	－	－	－	－	－	－	－	237
税引前中間利益	－	－	－	－	－	－	－	15,859

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国（Round One Entertainment Inc.及びその連結子会社２社）並びに高級飲食（Round One Delicious Holdings, Inc.及びその連結子会社１社）を除く海外現地法人の事業活動等を含んでおります。

２．調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

３．セグメント利益（△損失）は、要約中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

４．当社取締役会では預金（現金、外貨預金除く）及び有利子負債（リース負債除く）についての報告が実施され、意思決定に使用されております。当中間連結会計期間において、日本セグメントにおける預金46,207百万円、有利子負債63,896百万円、米国セグメントにおける預金5,603百万円、高級飲食セグメントにおける預金3,846百万円であります。なお、在外子会社の預金については期末日レートとは異なる換算レートを使用しているため、報告セグメント合計額と要約中間連結財務諸表計上額で差異が生じております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。